

2022年
3月25日(金)

10:15-17:20
オンライン開催
参加費/無料・要申し込み

日本と世界の潮流とCOVID-19後の
社会も見据え、また、学問の自由を
踏まえて、最新の事例と共にオープ
ンサイエンス時代の科学と社会の在
り方を議論する。

参加申し込み

<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>

(右QRコードもご活用ください)

問い合わせ

日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当

電話：03-3403-6295



日本学術会議主催学術フォーラム COVID-19時代のデータ社会とオープンサイエンス

【午前の部：司会】寺崎浩子（第二部会員、名古屋大学 未来社会創造機構 特任教授）

10:15 開会挨拶

菱田公一（副会長・第三部会員、明治大学知財・研究戦略機構 特任教授）

10:20 趣旨説明：

喜連川優（連携会員、オープンサイエンスを推進するデータ基盤とその利活用に関する検討委員会委員長）

10:30 「オープンサイエンス：G7における議論と今後の展望」

井上諭一（内閣府科学技術・イノベーション推進事務局審議官）

講演

10:50 「COVID-19の研究がもたらした臨床現場への影響」

忽那賢志（大阪大学大学院医学系研究科 教授）

11:25 「コロナ禍でつけつけられた、感染症領域での我が国の臨床開発力・創薬力の弱さ」

藤原康弘（第二部会員、独立行政法人医薬品医療機器総合機構 理事長）

11:50 「無症状者に対するPCR検査と医療データの利活用」

永井良三（連携会員、自治医科大学学長）

12:30 休憩

【午後の部：司会】木部 暢子（連携会員、人間文化研究機構国立国語研究所 特任教授）

14:00 「欧州におけるデータ活用政策の状況

生貝直人（一橋大学大学院法学研究科 准教授）

14:30 「世界のオープンサイエンス政策と欧州における研究データ基盤整備」

林和弘（特任連携会員、NISTEPデータ解析政策研究室長）

15:00 「オープンサイエンスと研究データ基盤整備の現状：アンケート結果速報」

穴戸常寿（特任連携会員、東京大学大学院法学政治学研究科 教授）

15:30 “Towards Common European Data Spaces”

Professor Edward Curry, Director, Insight SFI Research Centre for Data Analytics, NUI Galway

16:00 休憩

16:15 パネルディスカッション

モデレータ：喜連川優（前掲）

パネリスト：（講演者）永井良三、藤原康弘、井上諭一、生貝直人、林和弘

八木隆一郎（Division of Cardiovascular Medicine, Brigham and Women's Hospital
Research fellow）

17:15 閉会挨拶

林和弘（特任連携会員、オープンサイエンスを推進するデータ基盤とその利活用に関する検討委員会幹事）

主催/日本学術会議 企画/オープンサイエンスを推進するデータ基盤とその利活用に関する検討委員会